

XenとVmware機能比較

株式会社 BeaconNC
國武 功一



機能比較



	VMware ESXi	Xen
VT対応		
対応HW		
64bitOS対応		
対応OS種別数		
ライブ移行	(オプション)	
ストレージライブ移行	(オプション)	-(*1)
動的負荷分散	(オプション)	-
可用性(HA)	(オプション)	(オプション)
価格	無償	無償
安定性		?
実績		

)無償の範囲内では、できることはあまり変わらない

(*1) LVMをベースに使用すれば、近いことはできそうだが、Xen自体がそのサポートを持っているわけではない

- I/Oのボトルネック
 - CPU・メモリは、どちらもあまり大きな問題点とはならない。
 - HDDへのパス、ネットワーク(NIC)へのパスが、同一であるがゆえに、そこで渋滞を引き起こす可能性

- I/Oベースでの帯域制御
 - 他の仮想サーバの影響を受けづらくなるが、渋滞が起きることに変わりはない(でも欲しい機能。開発サーバでApplicationが暴走しても、本番系への影響を最小限にしたい！)
 - Bonding などを用いて、NICを束ね、帯域を広げる方法
 - Vmwareなら、FC/iSCSIに対し、複数のパスにまたがってラウンドロビンで Active/Activeでロードバランシングすることも可能
 - 集中管理が難しいか？
- 仮想I/Oの導入
 - 管理方法は？ 価格は？